

島根県立
古代出雲歴史博物館
NEWS

2008.SEP vol. 7



CONTENTS

2・3・4 秋の企画展「秘仏への旅」特集

5 館長室から／古代文化センターだより

6・7 展示室から／学芸員通信／秋のイベント・行事案内

8 企画展スケジュール／ボランティアのご案内

秘仏への旅

企画展
出雲・石見の観音巡礼

三十三年に一度の出会い



銅造観音菩薩立像 出雲市・鯉淵寺 六九二年 重要文化財

2008年
10月4日(土)
↓
11月30日(日)

秘仏への旅

—出雲・石見の観音巡礼—

近畿圏を中心に三十三の観音霊場を順にめぐる「西国三十三所」は平安時代に始まり、室町時代以降とくに盛んになりました。これにない、江戸時代には島根県の出雲地方・石見地方でも三十三か所の観音巡礼が行われました。この企画展では出雲・石見の観音霊場の本尊像や貴重な文化財が一堂に会します。通常は寺院でも拝観できない「秘仏」も特別に公開されるまたとない機会です。重要文化財11点を含む展示総数約70点。



▶銅造観音菩薩立像
(出雲市・鯛淵寺蔵/692年)
島根最古の観音像。
台座に刻まれた銘文から
持統天皇6(692)年に
造立されたことがわかる。
島根における観音信仰のルーツ。

展示構成

プロローグ／西国三十三所
第1章／出雲の観音巡礼
第2章／石見の観音巡礼
エピローグ／現在の島根の巡礼

会期 平成20年10月4日(土)→11月30日(日)

会場 島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

【主催】島根県立古代出雲歴史博物館、島根県古代文化センター

【特別協力】出雲三十三観音霊場会、石見曼荼羅観音霊場会

【後援(予定)】出雲の国「社寺縁座の会」、中国観音霊場会、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ山陰中央テレビ、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン株式会社、出雲ケーブルビジョン、ひらたCATV株式会社

第1章

出雲の観音巡礼

1番を出雲大社近くの長谷寺から始め、出雲地方一円をめぐり、33番目を玉造温泉近くの岩屋寺(現・清巖寺)で締めくくります。この展覧会では、霊場の観音菩薩像を中心に、数々の貴重な寺宝を公開します。



◀木造十一面観音菩薩立像(安来市・清水寺蔵/平安時代)
古刹・清水寺の本来の本尊。元秘仏。
島根で最古の十一面観音菩薩像。



◀木造観音菩薩坐像(雲南市・峯寺蔵/平安時代)
33年に1度しか開帳されない秘仏。
今回、学術調査により平安時代にさかのぼる
貴重な仏像であることが確認された。

特別講座

「出雲・石見の仏像 —最新の調査から—」

日時 平成20年10月4日(土)
10:30~12:00

講師 関西大学 教授 長谷洋一

連続講座

●第1回
「秘仏への旅
—出雲・石見の観音巡礼—」
10月11日(土) 13:30~15:00
古代出雲歴史博物館
主任学芸員 椋木賢治

●第2回
「中世的巡礼について」
10月25日(土) 13:30~15:00
古代出雲歴史博物館
専門学芸員 佐伯徳哉

●第3回
「島根における近世
六十六部廻国」
11月8日(土) 13:30~15:00
古代出雲歴史博物館
専門学芸員 鳥谷芳雄

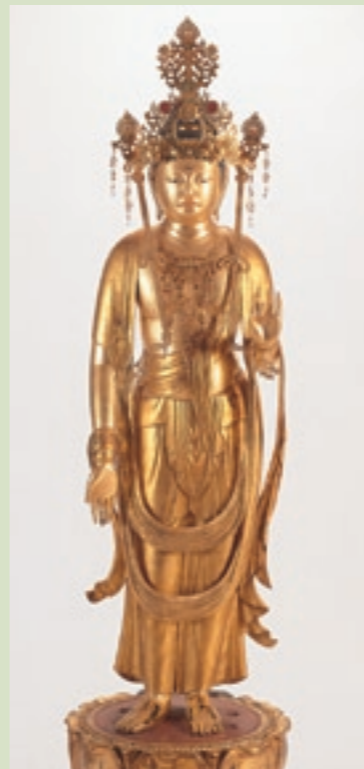
●第4回
「江戸時代の観音霊場巡り」
11月22日(土) 13:30~15:00
古代出雲歴史博物館
専門学芸員 岡 宏三

●第5回
「出雲巡礼
—巡礼路・供養塔・納札—」
11月29日(土) 13:30~15:00
古代出雲歴史博物館
専門学芸員 品川知彦

第2章

石見の観音巡礼

1番を石見銀山の清水寺から始めて、石見国一円をめぐり、33番を井田の高野寺で結びます。この展覧会のために行われた学術調査によって新たに確認された指定文化財級の仏像多数が寺外初公開されます。



▲木造観音菩薩立像
(浜田市・安国寺蔵/平安時代)
今回の学術調査により、平安時代にさかの
ぼる貴重な仏像であることが確認された。
都ぶりの美しい観音像。



▶銅造観音菩薩立像
(美郷町・定徳寺/
白鳳時代)
今回の学術調査に
より確認された石
見最古の仏像。
あどけない表情が
魅力的。



▲木造不動明王坐像(神奈川県・極楽寺蔵/平安時代)
明治時代に廃寺となった益田市・勝達寺の仏像。
島根県には19年ぶりの里帰りとなる。

上記、いずれも…

【場所】古代出雲歴史博物館 講義室
【定員】100名

【申込】電話・FAX・ホームページの
イベント参加フォームにて
受付。定員になり次第締切
とさせていただきます。

出雲・石見の観音霊場めぐり紹介

出雲三十三観音霊場	
1	第一番 長谷寺/ちようこくじ
2	第二番 養命寺/ようめいじ
3	第三番 鰐淵寺/がくえんじ
4	第四番 観音寺/かんのんじ
5	第五番 岩根寺(神門寺)/いわねじ(かんだうじ)
6	第六番 蓮台寺/れんだいじ
7	第七番 光明寺/こうみょうじ
8	第八番 長谷寺/ちようこくじ
9	第九番 峯寺/みねじ
10	第十番 禅定寺/ぜんじょうじ
11	第十一番 円通寺/えんつうじ
12	第十二番 寿福寺/じゆふくじ
13	第十三番 満福寺/まんぷくじ
14	第十四番 蓮花寺/れんげじ
15	第十五番 弘安寺/こうあんじ
16	第十六番 普濟寺(常栄寺)/ふさいじ(じょうえいじ)
17	第十七番 星上寺/ほしがみじ
18	第十八番 巖倉寺/いわくらじ
19	第十九番 観音寺/かんのんじ
20	第二十番 長台寺/ちようだいじ
21	第二十一番 清水寺/きよみずでら
22	第二十二番 長楽寺/ちようらくじ
23	第二十三番 願興寺(宗淵寺)/がんこうじ(そうえんじ)
24	第二十四番 浄音寺/じょうおんじ
25	第二十五番 澄水寺(長慶寺)/ちようすいじ(ちようけいじ)
26	第二十六番 小倉寺(千手院)/おくらじ(せんじゆいん)
27	第二十七番 長福寺(千光寺)/ちようふくじ(せんこうじ)
28	第二十八番 普音寺(成相寺)/ふおんじ(じょうそうじ)
29	第二十九番 朝日寺/あさひじ
30	第三十番 金剛寺/こんこうじ
31	第三十一番 満願寺/まんがんじ
32	第三十二番 福王寺(善光寺)/ふくおうじ(ぜんこうじ)
33	第三十三番 岩屋寺(清蔵寺)/いわやじ(せいざんじ)
◆	特別霊場 一畑寺/いちばたじ

出雲三十三観音霊場



石見三十三観音霊場



石見三十三観音霊場	
1	第一番 清水寺/せいすいじ
2	第二番 波啼寺/はていじ
3	第三番 安楽寺/あんらくじ
4	第四番 慈雲寺/じうんじ
5	第五番 神宮寺/じんぐうじ
6	第六番 円城寺/えんじょうじ
7	第七番 臥龍院(崇福寺)/がりゅういん(そうふくじ)
8	第八番 定徳寺/じょうとくじ
9	第九番 仙岩寺/せんがんじ
10	第十番 長江寺/ちようこうじ
11	第十一番 甘南備寺/かんなびじ
12	第十二番 福応寺/ふくおうじ
13	第十三番 瑠璃寺/るりじ
14	第十四番 和田寺/わだじ
15	第十五番 清閑院/せいかんいん
16	第十六番 栄泉寺/えいせんじ
17	第十七番 補陀落寺/ぶだらくじ
18	第十八番 興海寺/こうかいじ
19	第十九番 真福寺/しんぷくじ
20	第二十番 勝達寺/しょうたつじ
21	第二十一番 極楽寺/ごくらくじ
22	第二十二番 龍雲寺/りゅううんじ
23	第二十三番 尊勝寺/そんしょうじ
24	第二十四番 聖徳寺/しょうとくじ
25	第二十五番 宝幢寺/ほうとうじ
26	第二十六番 宝福寺/ほうふくじ
27	第二十七番 多陀寺/ただじ
28	第二十八番 安国寺/あんこくじ
29	第二十九番 福泉寺/ふくせんじ
30	第三十番 紀三井寺/きみいでら
31	第三十一番 観音寺/かんのんじ
32	第三十二番 西念寺/さいねんじ
33	第三十三番 高野寺/たかのじ
30	は所在不明

「木で仏像を彫ってみよう！」
木彫で小さな仏像をつくります。
【日時】10月12日(日)・19日(日)・26日(日)
11月9日(日)・16日(日)・30日(日)
(全6回)13:30~15:30(各回とも)

【講師】川島康史(木彫家)
【場所】古代出雲歴史博物館 体験工房
【定員】20名(6回連続参加が可能なおのりのみ)
【参加料】15,000円(税込)【専用彫刻刀が必要な方は5,000円(税込)】
【申込】電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームにて受付。定員になり次第締切とさせていただきます。

体験イベント

「金属で仏像をつくってみよう！」
石膏型に金属を流し込んで小さな仏像をつくります。
【日時】10月5日(日)13:30~15:30

【講師】ミュージアムいちばた 福代亜寿男
【場所】古代出雲歴史博物館 体験工房
【定員】20名
【参加料】1,000円(税込)
【申込】電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームにて受付。定員になり次第締切とさせていただきます。

【館長室から】

八月の熱い17日間 ~「出雲大社特別拝観」と歴博割引券の配布

古代出雲歴史博物館館長 矢内高太郎

4月20日の仮殿遷座祭に続いて、出雲大社さんでは御本殿の特別拝観を行われ、5月までに大変たくさんの方がお越しになりご覧になりました。中には待ち時間4時間半という日もあり、全国のみなさんの大社さんに対する崇敬の気持ちと関心の高さをまさに実感です。おかげさまで、この間、古代出雲歴史博物館(歴博)にもたくさんのお客様が来られましたが、連日、御本殿に続く長い行列を見て、この方達ももっと来館されなかなあと思っていました。

さて、8月の特別拝観は整理券を発行されるとのこととなりました。整理券であれば待ち時間ができることになります。その時間に歴博に来ていただく絶好の機会です。

整理券で並ばれる方に直接PRさせてもらえれば…！ さっそく大社さんのご理解をいただき、整理券の配布に続いて同じテントの中で割引券とチラシを配らせてもらうことになりました。

そのための準備として拝観記念特別割引券を印刷し、チラシに付けるためのホッチキス止めを始めましたが、結果的には12万枚もの作業となり、公開が終わる前日まで館内で手の空いたもの総動員でカッチ、カッチの毎日です。また、配布要員も2時間交替で延べ200人ほどにもなり、これも総動員。学芸員や、ボランティアスタッフのみなさんも参加です。

配っていると「この服装でOKですか?」「トイレはどこですか?」「日御碕に行くには?」などなど歴博の案内だけでないこともしょっちゅうで、皆汗だくで奮闘です。

歴博のことをご存じない方もたくさんおられましたし、お客様とのわずかなふれあいでも歴博がどんなイメージを持たれているか勉強になりました。一方で、割引券を配り、声をおかけしても本当に来ていただけるかなとちょっと心配でした。

でもでも、歴博に戻ってみると割引券を持たれてカウンターには長い行列ができています。それを見たときはうれしかったですね。肩が触れあうほどの展示室。ロビーや廊下の椅子で休憩されている(涼んでおられる?)たくさんのお客様。結局17日間で69,000人、一日平均4,050人ものご来館をいただきました。

今回よかったことは、県外の多くのお客様に歴博を紹介できたことです。御本殿を拝観され、歴博で宇豆柱や大社さんの歴史、さらには国宝の青銅器などを観られ、その印象を帰られて周りの人にきっと語っていただけたことでしょう。

実に暑い毎日でしたが、スタッフ一同よい汗をかくことができました。これからもたくさんの方にご来館いただけるようがんばってまいります。



【古代文化センターだより】

テーマ研究 「出雲国の形成と国府成立」

出雲・石見・隠岐の旧国3地域からなる島根県。1つの行政単位になってもそれぞれが強い地域色を残しています。この端緒と考えられるのが古代律令制の導入による、地方行政区画(令制国)の設定や山陰道制の施行です。

本テーマ研究は令制国の出雲国の成立を地域形成の重要な画期ととらえて、それがいつどのようにしてできたのかを探ることを目的としています。なかでも研究の柱として取り組んでいるのが、当時使用されていた土器(出雲産須恵器)の生産・流通からみた地域相と、各種の遺構・遺物および文献史料を通してみた領域性の問題です。前者では土器が時代の物差しになることからその編年作業からはじめ、次にこれがどのように生産されてどのような広がりや変化をもつのか、またその意味するところは何かを捉えようとしています。

平成18年度からはじめたこの共同研究の成果は、今年度予定した2回の客員研究員等合同検討会などを経て、来年度まとめることにしています。(古代出雲歴史博物館専門学芸員 鳥谷芳雄)



◀客員研究員等合同検討会の開催



▶土器検討グループによる編年作業

神像 — 神々のイメージ —

古くから仏の姿を表現した仏像が作られました。同様に数は少ないのですが、仏像の影響を受けて平安時代から神の姿を表現した神像も作られました。島根県内にも優品が遺っています。今回は平安時代から室町時代に作られた神像を紹介します。テーマ別展示室で12月15日まで。



木造僧形坐像(楯代賀姫神社蔵)

『博物館実習生と二度目の夏』

主任学芸員 仁木 聡

今年の夏も未来の学芸員を目指す15人の若き博物館実習生がやってきました。開館してわずか2年目の古代出雲歴史博物館ですが、県内の大学に通う学生や、県外の大学に通う県内出身の学生を実習生として受け入れています。わずか一週間の実習期間ですが、実に盛りだくさんの勉強が彼らと私たちを待ち受けています。

学芸員にあこがれてやってきた学生の多くは、学芸員の仕事に「研究者」としてのストイックなイメージや、「多彩な仕事を颯爽とこなす」クールなイメージを重ねることがあるようです。この実習をとおして、学芸員と博物館の魅力を自分なりに発見してもらう機会になったでしょうか。



実習中は学芸員になるための専門的な能力や資質を磨く体験だけではなく、博物館の運営を支える多くのスタッフと出会う中で、社会人としての作法や仕事の流儀等を少なからず経験してもらえることにも期待しています。

そして、チームワークを大切にしたい課外授業やオリジナル冊子の共同制作実習を用意しました。ふるさとに帰ってきた学生同士の親睦も深まり、ふるさと古代出雲の魅力を再発見した楽しい実習になったようです。

一方、私たち学芸員も学生のフットワークの軽さや柔軟な発想から多くのことを学び、初心に帰ることができました。博物館実習は実習生と学芸員の夏の一大イベントなのです。

「笑顔で、お待ちしております！」

■古代出雲歴史博物館には、光が射す場所がたくさんあります。雨あがりにキラキラ輝く桂の並木道。夕日が射し込む『水盤』。風土記の庭などは自慢の空間美でもあり、こころやすまる癒しの場でもあります。そうした美しい景色のなかでも、わたしたちアテンダントが一番素敵だと思うのは、この歴博空間のなかでのお客様の笑顔です。展示物をご覧になられて感激されたときのお客様の笑顔は、うれしくもあり、まぶしくもあります。それが、なによりのわたしたちの励みでもあります。

■古代出雲歴史博物館には、全国に誇ることができる展示物がたくさんあります。古代の出雲大社を支えた宇豆柱や国宝の青銅器などなど。けれども、素晴らしいのは展示物だけではなく、「展示は、一流。笑顔も、一品。」一歴博のアテンダントがお客様をお迎えする時の笑顔は、「天下一品」といわれるように日々精進しております。毎日、無形文化財のかつ国宝級のほほえみで、みなさまをお待ちしています。(アテンダント一同より)



特別展「聖地★巡礼」
入場記念セレモニーにて

この秋は、ロマンチックミュージアム。

10月

この秋の、古代出雲歴史博物館の「関連行事」「イベント」メニューです。

11月

「よみがえる出雲」 古代空間レトロモードショー

10月4日(土) 黄昏れどき
【第1部】18:00~ 【第2部】19:30~
場所/古代出雲歴史博物館 風土記の庭特設会場
入場料/2,000円
【お問い合わせ】古代空間レトロモードショー実行委員会
(☎0853-23-6347)

神在月の出雲★スタンプラリー

10月11日(土)~11月30日(日)
出雲大社周辺の駅などの拠点施設・店舗・ミュージアム施設などをスタンプラリーをしながらまちあるき。抽選で、出雲の特産品を贈ります。
【お問い合わせ】神在月の出雲★スタンプラリー実行委員会
(☎0853-53-8600)

れきはく秋の俳句楽

10月初旬~11月初旬
古代出雲歴史博物館情報交流室にて随時投句してください。

神在月古代文化シンポジウム 10月26日(日) 13:00~17:30 場所/大社文化プレイスうらら館

「天皇の前で語られた出雲神話
~出雲国造神賀詞奏上儀礼の謎に迫る~」
応募方法/①氏名、②年齢、③住所、④電話番号をご記入のうえ、往復はがき・FAXで申し込むか、古代出雲歴史博物館ホームページ内の「神在月古代文化シンポジウム」申し込みフォームからお申し込みください。

古代出雲歴史博♥秋のだんだん祭り

11月2日(日)・3日(月) 10:00~16:00
●古代にふれる・伝統をまなぶ歴史体感イベント●神在月の出雲れきはく劇場●神話の国のめぐみ・れきはくだんだん市場所/風土記の庭一帯
【企画・出演・出店等に関するお問い合わせ】
古代出雲歴史博物館 (☎0853-53-8600)

平成出雲塾 11月4日(火)~9日(日)

神在月の出雲へ謎とロマンの旅~座楽とフィールドワーク
企画主催/島根大学・古代出雲歴史博物館
旅行企画/近畿日本ツーリスト山陰支店 (☎0852-22-4891)
(募集人員40名)

全国博物館大会 11月20日(木)・21日(金)

場所/島根県民会館中ホール

古代出雲歴史博物館『秘仏への旅』フェア

(今井書店・出雲店多目的スペースPR展示)
9月13日(土)~11月16日(日)

『発掘! 斐伊川3万年の流れ』—尾原ダム地内の遺跡—

中国山地に源を発する斐伊川は、出雲地方随一の大河です。島根県教育委員会では、斐伊川の治水対策として国土交通省により建設が進められている尾原ダムの建設に先立ち、雲南市木次町・仁多郡奥出雲町にまたがる事業地内の発掘調査を行いました。この調査では、今から三万年前の旧石器時代のムラが県内で初めて発掘されたのはじめ、華麗な文様が施された縄文土器や、古墳に副葬された装飾付大刀などが出土しています。また、古代から中世にかけて、砂鉄と木炭を原料とした鉄・鉄器生産が連綿と続けられてきたことも確認され、この地域が特色ある豊かな歴史を育んできたことが明らかになりました。

今回の特集展では、尾原ダム地内で出土した遺物を一堂に展示し、これまで見過ごされがちであった出雲地方山間部の文化を見直します。



会期 平成20年12月20日(土)~平成21年2月15日(日)

特集展 「発掘! 斐伊川3万年の流れ —尾原ダム地内の遺跡—」 関/連/講/座

平成21年1月11日(日) 「明らかになった旧石器時代のムラ —原田遺跡の調査から—」 伊藤徳広 (島根県埋蔵文化財調査センター)
1月25日(日) 「縄文時代の生業と集落 —尾原ダム地内の縄文遺跡から—」 山田康弘 (島根大学)
2月8日(日) 「古代・中世の鉄・鉄器生産 —尾原ダム地内の製鉄関連遺跡—」 坂本論司 (雲南市教育委員会)
いずれも、島根県立古代出雲歴史博物館講義室にて、午後2時~4時開催します。

【定員】100名 【申込】電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームにて受付。定員になり次第締切とさせていただきます。

Dramatic Museum

古代出雲歴史博物館
企画展スケジュール

平成20年

企画展 2008年 10/4(土) ~11/30(日) **秘仏への旅**
出雲・石見の観音巡礼

特集展 2008年 12/20(土) ~2009年 2/15(日) **発掘！
斐伊川3万年の流れ**
尾原ダム地内の遺跡

平成21年

企画展 2009年 3/7(土) ~5/17(日) **輝く出雲ブランド**
古代出雲の玉作り

特集展 2009年 初 夏 『**神々の座・出雲**』
並河萬里写真展

特別展 2009年 開 催 『**出雲と相撲**』(仮)
松江藩のお抱え力士

※古代出雲歴史博物館パスポート(一年間有効)で、
企画展・特別展・特集展・常設展のすべてをご覧いただけます。

ボランティアをしてみませんか！

現在、75名の皆さんに、ボランティアとして、来館者への展示解説などを行っていただいています。この度、追加募集を行いますので、博物館や歴史が好きで、来館者とのふれあいを大切にしたいという方は、ぜひご応募ください。

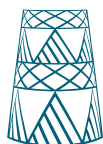
- 対 象** 満18歳以上で、次のような活動をご希望の方
- 展示の解説
 - 展示の外国語による通訳
 - 体験活動やイベントなどのサポート活動

応募期限 平成20年10月31日(金)
※応募後、事前研修を受講していただき、その後に正式登録していただきます。



【応募・問い合わせ先】
島根県立古代出雲歴史博物館ボランティア担当
☎0853-53-8600

発行／平成20年9月



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo
〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350
URL : <http://www.izm.ed.jp>
E-mail : contact@izm.ed.jp



マスコットキャラクター
雲太くん



マスコットキャラクター
出雲ちゃん